

特別養護老人ホーム フェリーチェ上野原

山梨県上野原市

設計・監理 石本建築事務所

施工 フジタ



■建築計画■

上野原市の緑豊かな山あいの中腹に建つ当施設は、特別養護老人ホーム（定員50名）、ショートステイ（定員20名）、デイサービスセンター（定員30名）、地域交流スペースを併せ持つ施設である。施設名称「フェリーチェ」は、イタリア語で「幸福」を意味する言葉で、一人一人がその人らしい幸福な生活を送る家になりたいと施主が命名したものである。

配置・平面計画

南北に細長い敷地の北側にアプローチと駐車場を、緑と眺望に恵まれた南側に施設を配して、周辺環境に溶け込み訪れる人をやさしく迎え入れるたたずまいとしている。

エントランスホールは向かいの山並みへと視線の抜ける開放的なスペースで、ここに面して西側にデイサービスを、東側に地域交流スペースと居住ゾーンを配して、開放的なパブリックゾーンと落ち着いた居住環境を明快に分けながら自然に交流の図れる構成としている。

居住ゾーンは2つの中庭を囲んで独立性のあるユニットを配置し、中央にはサービス諸室と交流ゾーンを設けて、豊かな居住環境と介護の機能性を両立している。

住まいとしての環境創り

居室は一人一人の生活拠点として、入り口には木の表札や花台、玄関灯などの玄関としてのしつらえと個性を表現できる工夫をしている。

またユニットごとに眺望の良い家庭的な浴室を設けるとともに、それぞれのユニットで特色のある色使いや家具配置をすることで、自分の住まいとしての愛着が持てる環境創りをしている。

地域に開かれた交流の場

エントランスホールに面した地域交流スペースには喫茶カウンターを設け、居住者や利用者の日常的なくつろぎのスペースとなるとともに、開放的なエントランスホールと一体となってさまざまな交流に活用できる空間としている。

(幸田聡一郎/石本建築事務所)



上/居住ゾーンの外観 建物を雁行させながら緑の中に浮いているような軽快なデザインとした。手摺は硬質木材、堅格子はアルミ焼付塗装

下/エントランスホール 正面のガラスからは緑と向かいの山並みが望め屋外へと連続するような開放感をもたせている



地域交流スペース 奥に見えるエントランスホールから連続した開放的な交流空間。右側には喫茶カウンターを設けている

ユニットの共同生活室 中庭に面した明るい食堂・リビング空間。カーテンやソファの張地、間仕切の布地や玄関灯のシェードなどに共通色を用い、ユニットごとに異なる色づかいとしている

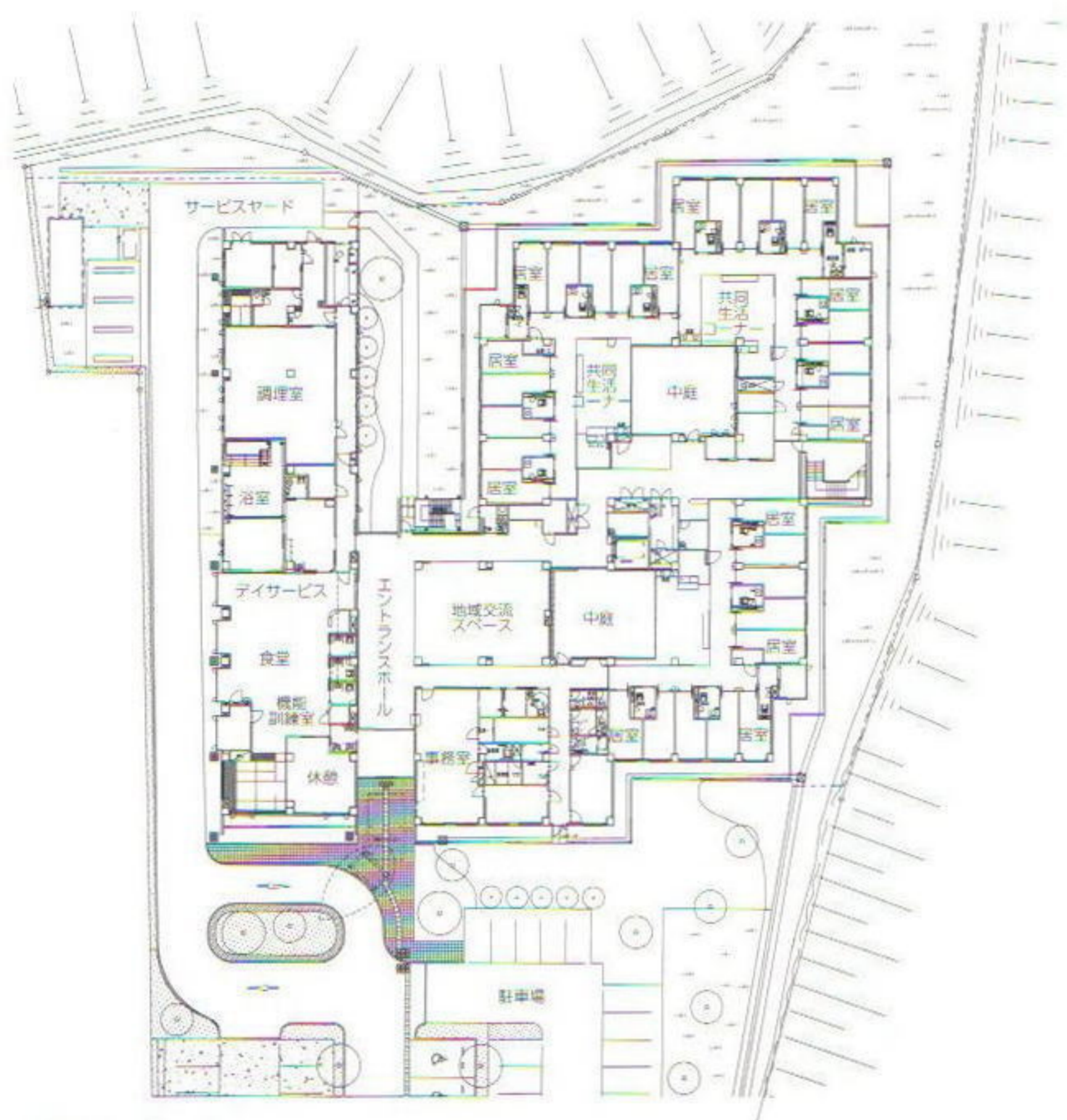




外観 中央のエントランスホールをはさんで左側に平屋のデイサービスゾーン、右側に2階の管理および居住ゾーンを配して訪れる人をやさしく迎え入れるたたずまいとしている



玄関を望むエントランスホール 右側にデイサービスゾーン、左側には地域交流スペースを配し一体的な交流ができる空間としている



1階平面図 縮尺1/600



2階平面図

■電気設備計画■

入居者が家庭的で快適に暮らしていけるように、電球色を主体とした暖かい雰囲気照明計画とした。ユニット内には親しみの持てるペンダント照明や玄関灯などのブラケット照明を設け施設的な雰囲気にならないように配慮した。

また、居室・廊下・トイレの照明は非常時の安全に配慮し一部発電機回路としている。

万一の火災に備え、出火場所が早期に発見できるように、室外表示ランプを設置するとともに、入居者の呼出しに迅速に対応できるように、ハンディナーコールシステムを導入した。

さらに、交流スペースにはAV機器を導入し、館内での映画鑑賞等さまざまな交流活動ができるよう配慮した。

(内川雄吾/石本建築事務所)

■機械設備計画■

空調設備
空調システムは、省エネルギー性、維持管理の容易性を重視し、ガスを主エネルギーとした個別空調方式を採用した。個別空調方式を採用することにより入居室毎の発停・温度制御・冷暖切替が可能となり、入居者に対し快適な環境を提供する計画とし、全熱交換器と組み合わせることで省エネルギー化を図った。機器類は本施設の屋上に集中設置することにより日常のメンテナンスが容易に行えるようにした。

衛生設備
給水方式は加圧給水方式を採用。給湯方式は少使用量である共用部の洗面器等は貯湯式電気温水器を採用し、大容量にて給湯が必要な浴室等はガス



デイサービス 出窓のアルコーブがある明るくくもりのある空間。手前には畳の休憩スペースがある

瞬間式湯沸器（マルチタイプ）を採用した。衛生器具は節水性・清潔性を考慮し、自動水栓を積極的に採用した。

(市川宗隆/石本建築事務所)



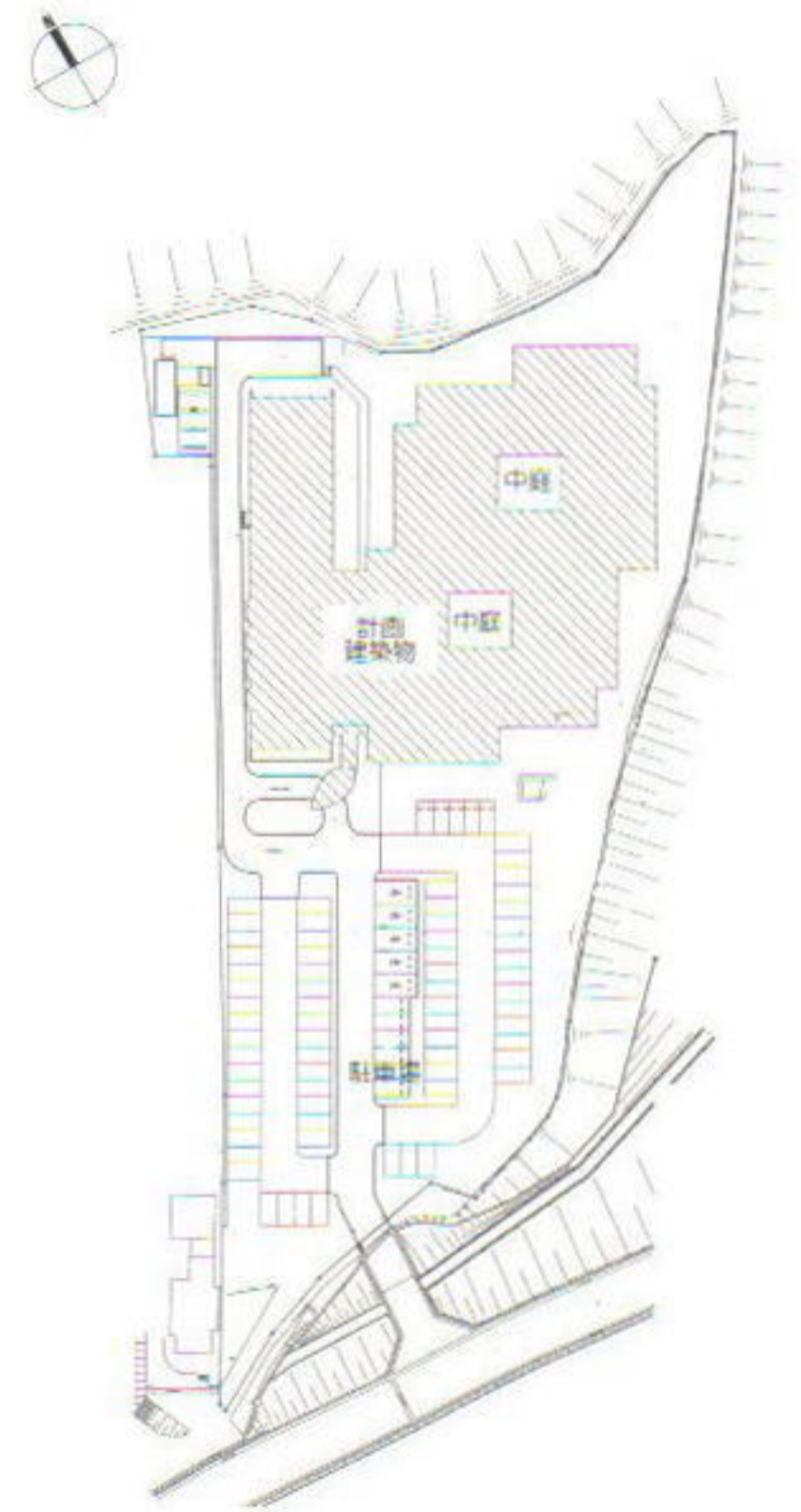
居室 窓からは豊かな緑と眺望を楽しむことができる



ユニットの浴室 ユニットごとに家庭的な個浴を設け、緑と眺望を最大限に取り入れた快適な浴室としている



2階ユニット平面図



配置図 縮尺1/1,500

特別養護老人ホーム フェリーチェ上野原 データ

所在地 山梨県上野原市大柄611

主要用途 特別養護老人ホーム

建築主 社会福祉法人 平成福祉会

設計・監理 石本建築事務所

担当/総括：幸田聡一郎 建築：赤崎格哉、澤 匡文（元所員）、小山恵理奈（元所員） 構造：石原和男、藤田

貞 電気：内川雄吾 機械：市川宗隆

施工 フジタ 担当/滝脇 徹

電気 秋山電気 担当/渡辺一勝

機械 ソウマ工業 担当/源平一行

設計期間 2003年5月～2004年3月

工事期間 2004年6月～2005年2月

【建築概要】

敷地面積 8,616.12㎡

建築面積 2,634.15㎡

延床面積 4,267.60㎡

建ぺい率 30.57%

容積率 49.53%

構造規模 RC造、地上2階、塔屋1階

最高高さ 12.1m

軒高 8.3m

駐車台数 83台

地域地区 都市計画区域外

【施設概要】

利用人数 特別養護老人ホーム50名（うち認知症10名）
ショートステイ20名、デイサービス30名

居室 全室個室、部屋面積14.7～17.2㎡

ユニット 10名×7ユニット

【設備概要】

電気設備 受電方式/6.6kV1回線受電、屋外キュービクル型 変圧器容量/油入式単相175kVA、3φ250kVA、計425kVA 予備電源/200Vディーゼル発電機

空調設備 空調方式/ガスHPパッケージ 熱源/LPG

衛生設備 給水/加圧給水ポンプ方式 給湯/中央給湯：ガス湯沸器マルチ型、局所給湯：電気湯沸器 排水/汚水雑排水合流方式、敷地内合併処理槽

防災設備 消火/SP設備、補助散水栓、ダクト消火設備 排煙/自然排煙 その他/自動火災報知設備、ガス漏れ

警報機

昇降機 寝台用×1基

撮影/株伸和

協力会社

昇降機設備工事	日立ビルシステム
ソーラートン	日東紡
アルミ建具工事	新日軽
ドアエンジン	ナブテスコ
ステンレス製グレーチング	寿要
自閉式双方向開閉折戸工事	日本ファイリング建材
クロスサンゲツ	
塩ビ床材	東リ
排煙オペレーター	豊和
照明器具	東芝ライテック
ナースコール	ケ、アコム